

## 次の感染拡大に向けた保健・医療提供体制の確保について（案）

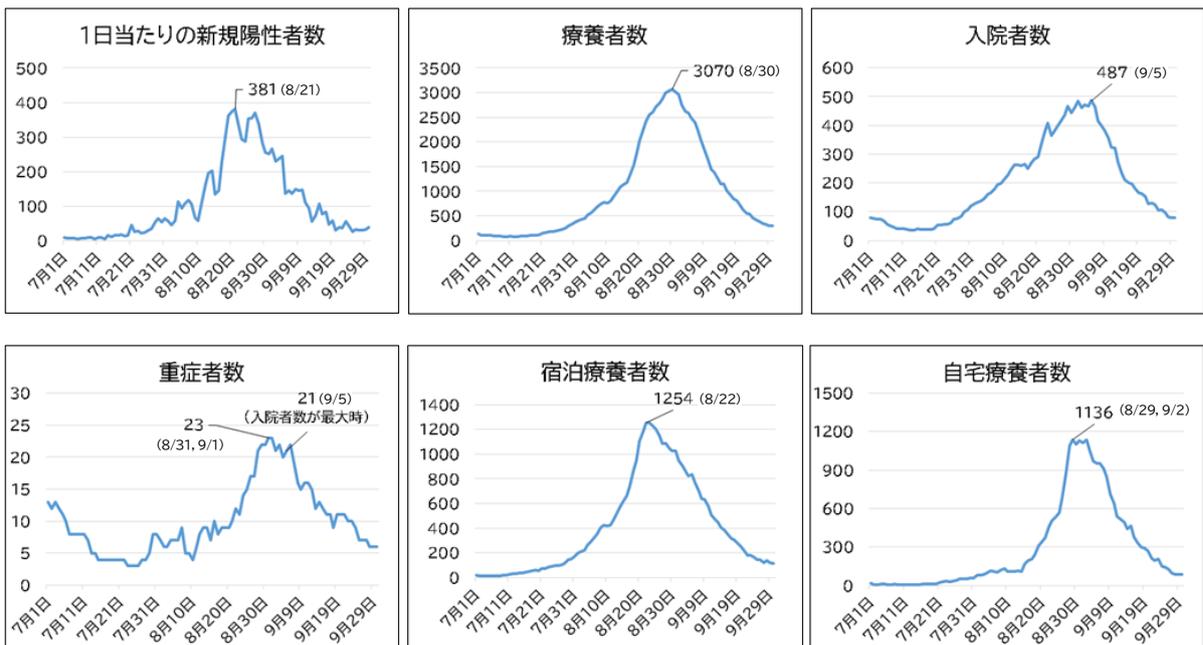
### 1 要旨・目的

新型コロナウイルス感染症については、今後も、今夏における最大の感染拡大時（第5波）と同程度の感染拡大が生じることを前提に、新規陽性者数等についてシミュレーションを行い、感染拡大のピーク時にも医療崩壊を起こすことなく対応できるよう、次の感染拡大（第6波）に向けた保健・医療提供体制の構築に係る方針を策定したので、概要を報告する。

なお、11月末までに、この方針に沿った体制の構築を「保健・医療提供体制確保計画」として取りまとめ、国に提出することとしている。

### 2 現状・背景

#### (1) 第5波の感染状況等



#### (2) 現状・課題

- 感染急拡大時において患者受入病院の負担が増大した。
- 感染急拡大時に保健所業務がひっ迫し、健康観察業務に影響が出た。
- 感染急拡大時に患者受入病院や宿泊療養施設等への患者搬送がひっ迫した。
- ワクチン接種の進展に伴い、重症患者の減少及び軽症・中等症患者が増加しており、今後は、宿泊療養者や自宅療養者の外来受診・治療需要が増大すると見込まれる。
- 重症化予防や発症抑制に効果のある中和抗体療法の実施体制の整理を行い、一部地域で短期入院による投与が進んだ。

### 3 概要

#### (1) 対象者

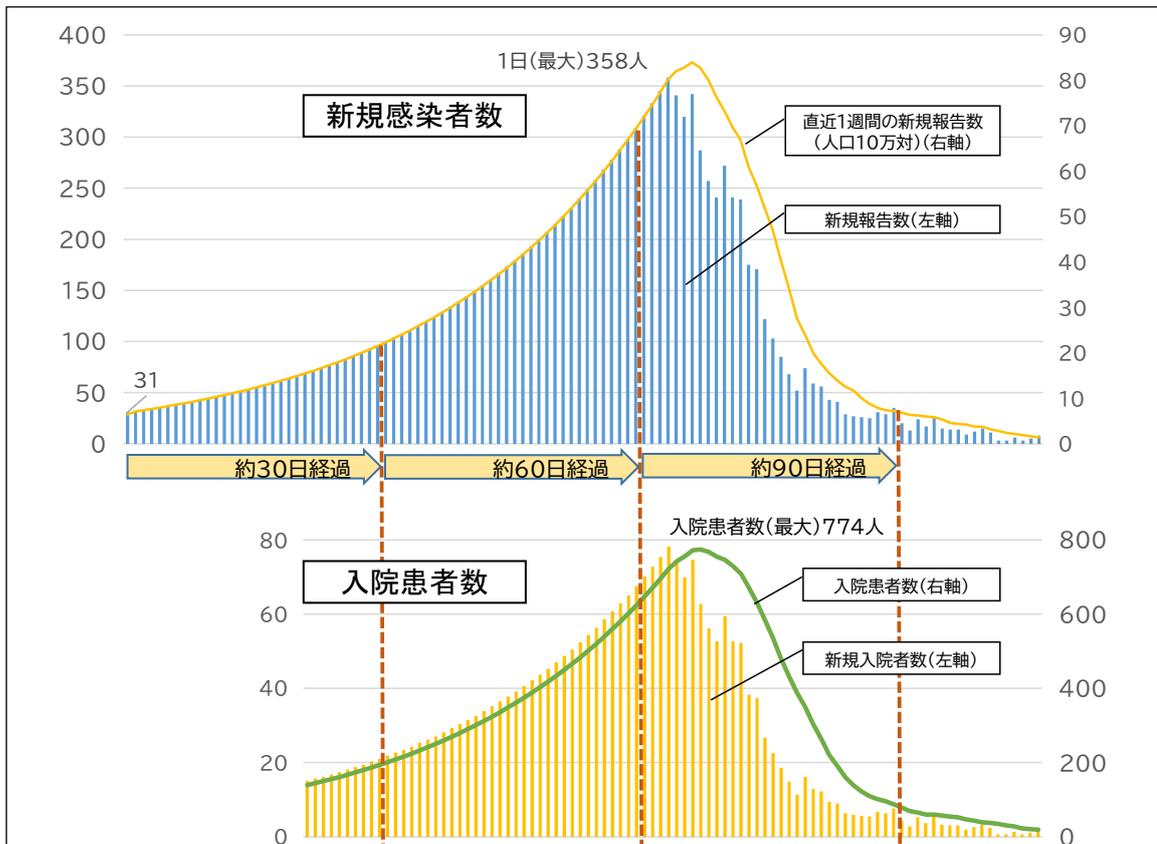
県民

#### (2) 実施内容

##### ア 第6波の対応方針

- 入院・宿泊療養を基本とするが、やむを得ず自宅療養となった場合でも、医療にアクセスできる体制を整備
- 医療人材の確保、患者受入病院等への応援体制の確保
- 保健所業務の負担軽減のため、健康観察業務の民間委託の検討
- 患者搬送においては、運転業務等の民間委託の促進
- 宿泊・自宅療養者等の中和抗体療法の実施体制を地域ごとに整備

##### イ 第6波のシミュレーション



##### ウ 想定するピーク時の患者数（主なもの）

区分	第6波で想定する患者数	R3.10.1 国通知による算定値	第5波での最大値	第5波での確保数
1日の新規感染者数 [最大] (ピーク日を中心とした1週間平均)	358人 (337人)	381人 (334人)	381人 (334人)	病床確保計画の想定 400人
入院患者数 [最大]	774人	584人	487人	最大確保病床数 872床
うち重症者数 [最大]	45人	—	23人	—
宿泊療養者数 [最大]	1,971人	2,270人	1,254人	最大確保居室数 2,397室
自宅療養者数 [最大] (拡大期の自宅割合25%を想定)	348人 (580人)	216人	1,136人	—

## エ 第6波に向けた整備目標

区分	現状 (第5波)	目標 (第6波)
入院病床	即応病床数 836 床 確保病床数 872 床 (フェーズ5)	必要病床数 911 床 確保病床数 938 床 (フェーズ5)
臨時の医療施設 (内数)	酸素センター 39 床 ※ 宿泊療養施設に併設	酸素センター106 床 既設：1 施設 39 床 予定：2 施設 67 床 (独立設置)
宿泊療養施設	稼働室数 15 施設 2,270 室 確保室数 16 施設 2,397 室	必要室数 1,971 室 確保室数 16 施設 2,397 室
自宅療養	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次保健医療圏ごとに、オンライン診療、往診、訪問看護、薬剤処方体制の確保</li> <li>陽性者外来の受診調整体制を各保健所に確保</li> <li>自宅療養者への食事の提供等業務の民間委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次保健医療圏ごとに、陽性者外来、オンライン診療、往診、訪問看護、薬剤処方体制の本格運用</li> <li>陽性者外来の受診調整体制を各保健所に確保</li> <li>自宅療養者の健康観察業務の民間委託の検討</li> <li>自宅療養者への食事の提供等業務に関連した市町との連携調整 (感染症法第44条の3第6項)</li> </ul>
重症化予防		
陽性者外来	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島地区は5病院による輪番体制を構築・運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次保健医療圏ごとに、外来診療体制 (搬送を含む) を構築・運用</li> <li>患者受入病院以外の医療機関での実施を協議、運用開始</li> </ul>
中和抗体療法	<p>[対象] 軽症, 中等症(I)</p> <p>[方法] ・入院患者に対して適宜実施 ・短期入院 (可能ならば外来) ・広島・福山地区で、早期治療開始及び効率的な運用に向けた実施体制を試行中</p>	<p>[対象] 軽症, 中等症(I)に加え無症状者, 同居の濃厚接触者に拡大</p> <p>[方法] ・短期入院, 可能ならば外来 ・ピーク時の圏域の実情に応じた搬送体制の整備や患者受入病院の負荷を軽減する運用が検討課題</p>
医療人材の確保・応援体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>陽性者外来に看護師を応援派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨時の医療施設や陽性者外来等への医療従事者の派遣・輪番体制の整備</li> </ul>

### (3) スケジュール

区分	R3. 11 月	R3. 12 月～
保健・医療提供体制確保計画	計画提出 ●	体制構築 
入院病床 (872 床)	維持・確保 	
臨時の医療施設	医療人材の確保・調整	必要に応じて運用開始 
陽性者外来, 中和抗体療法, オンライン診療・薬剤処方等	関係機関・病院等との調整	ピーク時の実施体制整備 
医療人材の確保・応援体制	関係団体・大学等との調整	臨時の医療施設・陽性者外来等の人材確保, 輪番体制の整備等

### (4) 予算

	(累計額)	(R3年度現計予算額)
新型コロナウイルス感染症対策	384,577 百万円	204,684 百万円
(うち関係分) ・感染拡大防止対策	129,415 百万円	97,570 百万円
・医療提供体制の確保	107,443 百万円	47,216 百万円